ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043101) ドイツ語 I MT(1) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月4, 木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 井戸 慶治, 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ダンケ・シェーン、ドレスデン!』 識名章喜著 (白水社)			
オフィスアワー 初回の授業時に説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043102) ドイツ語 I JA(2) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 井戸 慶治, 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『クロイツング・ネオ』 小野寿美子他著（朝日出版社）			
オフィスアワー 初回の授業時に説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043103) ドイツ語 I JE(3) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著 (同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043104) ドイツ語 I JE(4) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス, 佐藤 温子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後、またはメールで相談			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043105) ドイツ語 I JE(5) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラープ他著（同学社）			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043106) ドイツ語 I JE(6) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著 (同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043107) ドイツ語 I M(7) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式で授業を行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される。週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
【授業計画】 (1) 受講上の諸注意 発音の基礎 (2) ～ (6) 第1課 (一般動詞の現在人称変化) (7) ～ (10) 第2課 (名詞の性/定冠詞の格変化) (11) 第3課 (名詞の複数形) (12) ～ (13) 第4課 (幹母音変化の動詞/人称代名詞の格変化) (14) ～ (15) 第6課 (定冠詞類/不定冠詞類) (16) 中間試験 (17) ～ (20) 第5課 (前置詞) (21) ～ (25) 第7課 (複合動詞/接続詞) (26) ～ (30) 第8課 (話法の助動詞/未来形) (31) 期末試験 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合がある。 ※ 授業後には、必ずじっくり復習しておくこと。			
教科書・参考書等 アンドレア・ラーブ ほか『ミュンヘンに夢中』(同学社 2017) 定価 2,500円 (本体) ISBN: 978-4-8102-0744-6 オフィスアワー 質問などがある場合には、授業前後の休み時間において、その都度、対応します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043108) ドイツ語 I M(8) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043109) ドイツ語 I M(9) German I	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 佐藤 温子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、授業態度等も含めて成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ゲナウ! : コミュニケーションのドイツ語 ノイ』 新倉真矢子 [ほか] 著 第三書房, 2015年			
オフィスアワー 授業後、またはメールで相談			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043201) ドイツ語ⅡMT(1) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月4,木3	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 井戸 慶治, 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ダンケ・シェーン、ドレスデン!』 識名章喜著 (白水社)			
オフィスアワー 初回の授業時に説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043202) ドイツ語Ⅱ JA(2) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3,木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 井戸 慶治, 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『クロイツング・ネオ』 小野寿美子他著（朝日出版社）			
オフィスアワー 初回の授業時に説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043203) ドイツ語ⅡJE(3) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著 (同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043204) ドイツ語ⅡJE(4) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス, 佐藤 温子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後、またはメールで相談			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043205) ドイツ語ⅡJE(5) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期水2, 金4	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ミュンヘンに夢中』 アンドレア・ラープ他著 (同学社)			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043206) ドイツ語ⅡJE(6) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3,木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『Sprechen und Verstehen』 Florian Neumann 著 (同学社)			
オフィスアワー 木曜日3時限目			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043207) ドイツ語ⅡM(7) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式で授業を行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される。週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
【授業計画】 (1) ドイツ語の方言（地域語）について (2) ～ (4) 第9課（過去人称変化） (5) ～ (7) 第10課（現在完了形） (8) ～ (11) 第11課（形容詞の格変化／zu不定詞） (12) ～ (15) 第12課（再帰動詞／受動態） (16) 中間試験 (17) ～ (20) 関係代名詞（文法の補足：教科書85頁） (21) ～ (25) 接続法第Ⅰ式（文法の補足：教科書86頁） (26) ～ (30) 接続法第Ⅱ式（文法の補足：教科書87頁） (31) 期末試験 ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合がある。 ※ 授業後には、必ずじっくり復習しておくこと。			
教科書・参考書等 アンドレア・ラーブ ほか『ミュンヘンに夢中』（同学社 2017）定価 2,500円（本体）ISBN: 978-4-8102-0744-6 オフィスアワー 質問などがある場合には、授業前後の休み時間において、その都度、対応します。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043208) ドイツ語ⅡM(8) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3,木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後 履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043209) ドイツ語ⅡM(9) German II	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 後期月3, 木2	対象年次及び学科 1～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 10
	授業形態 Lx	単位数 2	
担当教員名 佐藤 温子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習			
授業の概要 この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏（ドイツ、オーストリア、スイス）の文化的な背景についても理解を深める。			
授業の目的 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、授業態度等も含めて成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
教科書・参考書等 『ゲナウ！ コミュニケーションのドイツ語 ノイ』新倉真矢子 [ほか] 著 第三書房 2015年			
オフィスアワー 授業後、またはメールで相談			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043301) ドイツ語Ⅲ(1) GermanⅢ(1)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 田淵 昌太	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分×15回 + 自学自習(特に予習は不可欠です)			
授業の概要 ドイツ語ⅠⅡで習得した文法知識を生かして、実際にドイツ語の文章を読む。			
授業の目的 1 初級文法を復習しながら、実際にドイツ語の文章を読み進めることにより、読解力を向上させる。 読み取ったドイツ語文の内容を日本語で正確に表現する(和訳する)ことにより、自らの考えを整理し、的確に伝達する術を身につける。 (この項目は共通教育スタンダード②〈課題解決のための汎用的スキル〉に対応する。) 2 ドイツ語学習を通して、ドイツやオーストリアといったドイツ語圏の国々の歴史や文化に親しみ、そうした異国の文物に対して自分なりの意見を持つことができるようになる。 (この項目は共通教育スタンダード③〈広範な人文・社会・自然に関する知識〉に対応する。)			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1 辞書を引く習慣を身につけ、辞書を使いこなすことができるようになる。 2 筋道だてて考える姿勢を身につける。 3 平易なドイツ語の文を自力で読むことができるようになる。 4 ドイツ語圏の文学・歴史・食文化・美術・音楽などに親しむ。 5 異文化を理解する姿勢(広い視野と柔軟な思考)を培う。			
成績評価の方法と基準 評価項目とその割合は、おおむね以下のとおりとする。 授業準備の充実度・積極的な授業参加: 40% レポート・提出物: 20% 筆記試験: 40% ※ 教室に出てきているだけで「出席点」に類する得点が与えられることはない。 ※ 授業中に授業と関係のないことをしている者には退出を命じ、「積極的な授業参加」の項目から減点する。 ※ レポートならびにその他の提出物については授業内で随時、指示する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
【授業計画】 第1回 ドイツ語の基礎 第2回 Lektion 1 旅の道連れ 第3回 Lektion 1 復習と練習問題(前置詞) 第4回 Lektion 2 旅行計画 第5回 Lektion 2 復習と練習問題(複合動詞) 第6回 Lektion 3 到着 第7回 Lektion 3 復習と練習問題(命令表現) 第8回 Lektion 4 フランクフルト・アム・マイン 第9回 Lektion 4 復習と練習問題(形容詞) 第10回 ドイツ料理の作りかた(Schlachtplatte) 第11回 Lektion 5 ミュンヘンへ向かう 第12回 Lektion 5 復習と練習問題(話法の助動詞) 第13回 Lektion 6 ミュンヘンと美術館 第14回 文法の解説(関係代名詞) 第15回 Lektion 7 山岳地帯への小旅行			
【授業準備】 ・授業は教科書に基づいて行われる。教科書の内容は、取捨選択しつつ扱う。 ・第2回以降は、しっかり辞書を引いて予習し、自分なりの訳文をきちんとノートに書いたうえで授業に参加すること。 ・予習の際に、どこが分からないのかをはっきりさせておき、その疑問点を解決するために授業に出てくるようにするとよい。 ・授業進度には多少のずれが生じる場合がある。			

教科書・参考書等

伊藤真 / Emil Schinzinger / 木村高明『ドイツ語・次のステップへ!』(同学社 2019) 本体2,000円

オフィスアワー 質問等のある者は授業前後の休み時間に申し出ること。その都度、対応する。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業中の私語は厳禁。スマートフォンなどの電源は切っておくこと。

教室に出てくる以上は、授業と関係のないことはやらないようにしてください。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043302) ドイツ語Ⅲ(2) German III (2)	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月2	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 最上 英明	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 ドイツ語の初級文法で1年次に学習した事項を復習し、学習しなかった事項も学びながら、ドイツ語の読解力を養成する。モーツァルトの生涯を扱ったテキストを読み進めながら、ドイツ語圏の歴史や文化への理解も深める。			
授業の目的 ドイツ語の初級文法を修得する。初歩的なドイツ語の読解力を確実に身につける（共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル(幅広いコミュニケーション能力)」に対応）。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 ドイツ語を通して、モーツァルトの生涯について知ることができる。 ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。			
成績評価の方法と基準 授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 テキストを分担して読み進めていく。 (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験			
教科書・参考書等 教科書：『モーツァルトとドイツ語を』 牧野／宇野（第三書房） 2300円 参考書：『必携ドイツ文法総まとめ－改訂版－』 中島・平尾・朝倉著（白水社） 初中級の学習に耐える独和辞典（『アポロン』、『アクセス』など、1年次に使用した辞書で可）			
オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 予習と出席が必須であることは言うまでもない。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 043303) ドイツ語Ⅲ(3) German III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 アルベルス マリウス	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 初級の文法、語彙、会話、読解などを復習して、知識を広める。この授業はドイツ語だけではなく、ドイツの文化や日常生活や地理なども触れる。			
授業の目的 ドイツ語の『読み』『書き』『話す』『聞く』という、言語の4つの能力を総合的に習得し、運用できるようにする。文法や語彙のドリルではなく、楽しみながら、平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようになることを目標とする。そして初級の文法を自然に使えるようになること。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 簡単なドイツ語文章が読めるようになる。 2. 平易なドイツ語のコミュニケーションをできるようになる。 3. 自己紹介をドイツ語でうまく表現できるようになる。 4. ドイツの社会についての知識を広めること。			
成績評価の方法と基準 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
(1) ガイダンス (2)～(6) Lektion 1～5 (7) 中間試験 (8)～(12) Lektion 6～10 (13)～(14) 復習 (プリント) (15) 期末試験			
教科書・参考書等 『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。			
オフィスアワー 授業後			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Lx1 授業科目名 (時間割コード: 043304) ドイツ語Ⅲ(4) GermanⅢ	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期木3	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Lx	単位数 1	
担当教員名 佐藤 温子	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 外国語演習Ⅰ(ドイツ語)または全学共通科目のドイツ語Ⅲをすでに履修した学生を対象に、ドイツ語の読解力をさらに養成する。現代ドイツ語圏社会に関するテキストを読み進めながら、ドイツ語の文化的背景への理解も深める。			
授業の目的 ドイツ語の文法を確実に身につける。ドイツ語の読解力を向上させる。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
1. 平易なドイツ語の文章が読めるようになる。 2. 現代のドイツ語圏社会について知ることができる。 3. ドイツ語検定試験3級に合格できるドイツ語能力を獲得する。			
成績評価の方法と基準 授業への参加状況が評価の中心になるが、試験の成績も含めて、総合的に評価する。			
授業計画並びに授業及び学習の方法			
[授業の方法] 現代ドイツ語圏社会に関するテキストを分担して読み進めていく。			
[授業計画] (1) オリエンテーション (2)～(15) テキストの読解 (16) 期末試験			
教科書・参考書等 教科書：初回授業後に、アンケートや諸状況を勘案して決定する。 辞書(独和辞典)：初級者向きであればどれでも構わない。たとえば、『アポロン』(同学社)、『アクセス』(三修社)、『クラウン』(三省堂)、『エクセル』(郁文堂)などから、自分にあった辞書を選ぶこと。電子版・紙版は問わない。			
オフィスアワー 授業後、またはメールで相談。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 毎回読む文章について準備が必要。この授業では、受講者の関心にできるかぎり応えるため初回にアンケートを実施するので、初回の授業に出席しない者は希望が反映されないことがある。			

ナンバリングコード B2DEU-abxG-1N-Ex1 授業科目名 (時間割コード: 043401) ドイツ語会話Ⅲ German Conversation III	科目区分 コミュニケーション 科目	時間割 前期月1	対象年次及び学科 2～全学共通科目
	水準・分野 B2DEU	DP・提供部局 abxG	対象学生・特定プログラムとの対応 1N
	授業形態 Ex	単位数 1	
担当教員名 フリアン・ノイマン	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 15回 + 自学自習			
授業の概要 この授業は日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになることを目標とする。文法中心速く進むとより、学んだ文法を自然に使えるようになることを優先する。一年目で学んだ基礎文法とパターンを繰り返し練習するので、教科書は必ずしも終わらせる必要はない。言語だけではなく、ドイツ事情（歴史、地理、文化、政治など）について話し合う。			
授業の目的 日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになる。文法の基本を修得する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
約1000語の語彙練習を前提としてのドイツ語の会話ができる。			
成績評価の方法と基準 評価は試験だけでは行わない。授業中に積極的に発表するなどの授業参加態度を重視する。50%は授業中の積極性、残りは口頭及び筆記試験により評価される。			
授業計画並びに授業及び学習の方法 会話の練習を積み重ねる。 (1)～(15) 会話演習 (16) 期末試験			
教科書・参考書等 プリント配布			
オフィスアワー 初回の授業で説明する。			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 会話の授業なので、積極的な参加態度が求められる。			